

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成17年10月6日(2005.10.6)

【公開番号】特開2004-5813(P2004-5813A)

【公開日】平成16年1月8日(2004.1.8)

【年通号数】公開・登録公報2004-001

【出願番号】特願2002-158886(P2002-158886)

【国際特許分類第7版】

G 11 B 7/09

【F I】

G 11 B 7/09 D

【手続補正書】

【提出日】平成17年5月26日(2005.5.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

対物レンズを取り付けたレンズホルダと、

前記レンズホルダの一側面に保持される第1の駆動コイルを備えた第1のコイルユニットと、前記第1のコイルユニットに対面する第1のマグネットとを備え、所望の駆動力と共に、前記所望の駆動力とは別の駆動力又は当該別の駆動力に基づくモーメントを発生する第1の駆動力発生部と、

前記一側面に対向する前記レンズホルダの他側面に保持される第2の駆動コイルを備えた第2のコイルユニットと、前記第2のコイルユニットに対面する第2のマグネットとを備え、前記所望の駆動力と共に、前記第1の駆動力発生部で発生した前記別の駆動力又は前記モーメントを打消す駆動力又はモーメントを発生する第2の駆動力発生部とを有することを特徴とする光ヘッド装置。

【請求項2】

請求項1記載の光ヘッド装置において、

前記第1及び第2の駆動コイルは、トラッキングコイルであり、

前記別の駆動力は、フォーカス方向に生じること

を特徴とする光ヘッド装置。

【請求項3】

請求項1記載の光ヘッド装置において、

前記第1及び第2の駆動コイルは、フォーカスコイルであり、

前記別の駆動力は、トラッキング方向に生じること

を特徴とする光ヘッド装置。

【請求項4】

対物レンズを取り付けたレンズホルダと、

前記レンズホルダの一側面に保持される第1の駆動コイルを備えた第1のコイルユニットと、前記第1のコイルユニットに対面する第1のマグネットとを備え、所望の駆動力と共に、前記第1の駆動コイルの駆動力分布が異なることによりモーメントが発生する第1の駆動力発生部と、

前記一側面に対向する前記レンズホルダの他側面に保持される第2の駆動コイルを備えた第2のコイルユニットと、前記第2のコイルユニットに対面する第2のマグネットとを

備え、前記所望の駆動力と共に、前記第1の駆動力発生部で発生した前記モーメントを打ち消すモーメントを発生する第2の駆動力発生部と
を有することを特徴とする光ヘッド装置。

【請求項5】

請求項4記載の光ヘッド装置において、
前記第1及び第2の駆動コイルは、フォーカスコイル又はトラッキングコイルのいずれかであること
を特徴とする光ヘッド装置。

【請求項6】

請求項1乃至5のいずれか1項に記載の光ヘッド装置において、
前記第1の駆動コイルは、一部が前記第1のマグネットの対向面の着磁境界近傍に位置し、
前記第2の駆動コイルは、一部が前記第2のマグネットの対向面の着磁境界近傍に位置し
していること
を特徴とする光ヘッド装置。

【請求項7】

請求項6記載の光ヘッド装置において、
前記第1のマグネットの前記第1の駆動コイルとの対向面の着磁パターンと、前記第2のマグネットの前記第2の駆動コイルとの対向面の着磁パターンとは、逆向きになつてゐること
を特徴とする光ヘッド装置。

【請求項8】

請求項6記載の光ヘッド装置において、
前記第1のマグネットの前記第1の駆動コイルとの対向面は、第1磁極に着磁された凹領域とそれに組み合わさる第2磁極に着磁された凸領域とを有し、
前記第2のマグネットの前記第2の駆動コイルとの対向面は、第2磁極に着磁され前記第1のマグネットの凹領域と逆向きに配置された凹領域とそれに組み合わさる第1磁極に着磁された凸領域とを有してゐること
を特徴とする光ヘッド装置。

【請求項9】

請求項6記載の光ヘッド装置において、
前記第1のマグネットの前記第1の駆動コイルとの対向面は、第1磁極に着磁されたL字領域と第2磁極に着磁された逆L字領域とを有し、
前記第2のマグネットの前記第2の駆動コイルとの対向面は、第1又は第2磁極のいずれか一方に着磁されたL字領域と他方に着磁された逆L字領域とを有してゐること
を特徴とする光ヘッド装置。

【請求項10】

請求項1乃至9のいずれか1項に記載の光ヘッド装置を備えることを特徴とする光再生装置。